

2004年9月17日

プロ野球のストライキ問題について

社団法人 経済同友会
代表幹事 北城 恪太郎

1. プロ野球の発展にとって、経営側および選手会側は共にファンの期待に十分応えることを最優先に考えるべきである。その意味で、日本プロ野球選手会によるストライキが決行されることは残念である。
2. すでに複数の企業が新規参入を希望しているが、障壁をできるだけ低くし、来年春からでも新球団がパ・リーグに参加できることが望ましい。新しい視点が導入されることによって様々なアイデアや創意工夫が生まれ、それによって球界全体の活性化が達成されることを期待する。

以上